



by HARMAN

SOUNDGEAR SOUNDGEAR BTA

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

- ❗ 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- ❗ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ❗ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ❗ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くで使用しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- ❗ 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- ❗ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所では使用しない。火災・感電の原因になることがあります。
- ❗ 交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中に本機を使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。
- ❗ 歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえない危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

- ❗ ほこりや湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ❗ 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ❗ 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。また電池の液が目に入った時や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ❗ 電池について以下のご注意。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れて、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れてください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- ・ 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意
 ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 ・ 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
 ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために
 ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
 ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例
 補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
 ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について
 本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
 ・ 本機を分解/改造すること。
 ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について
 この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

この取扱説明書について

この取扱説明書は、SOUNDGEAR および SOUNDGEAR BTA について説明しています。SOUNDGEAR と SOUNDGEAR BTA の説明に違いがある場合は、その都度違いを明記しています。また、**BTA** のマークがついている項目は SOUNDGEAR BTA のみに関する説明が記載されています。SOUNDGEAR BTA をお買い上げのお客様のみお読みください。

付属品

▶ SOUNDGEAR

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 充電用ケーブル（オレンジ）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）
- 日本語取扱説明書（本紙）

▶ SOUNDGEAR BTA

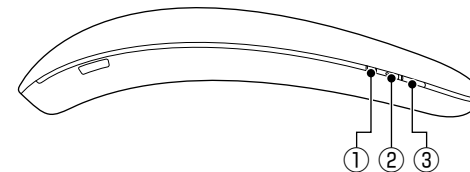
お使いになる前に、サウンドギア本体のほか、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- BTA（Bluetooth ワイヤレスオーディオトランスミッター）
- 光デジタルケーブル
- 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブル
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）
- USB ケーブル（サウンドギア充電用 1 本、BTA の電源接続用 1 本、計 2 本）

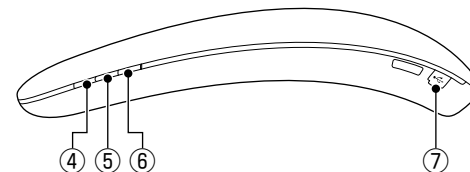
各部の名称

▶ サウンドギア

【右アーム】



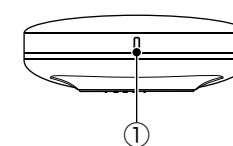
【左アーム】



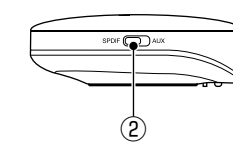
- 1 バッテリー / Bluetooth インジケーター
- 2 電源スイッチ (⏻)
- 3 Bluetooth ボタン (📶)
- 4 音量-ボタン
- 5 マルチファンクションボタン (▶||/📞)
- 6 音量+ボタン
- 7 USB コネクタ

▶ BTA（SOUNDGEAR BTA にのみ付属）

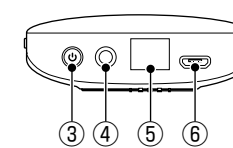
【正面】



【右側面】



【背面】



- 1 電源 / Bluetooth インジケーター
- 2 SPDIF / AUX（入力切り替え）スイッチ
- 3 電源 / ペ어링ボタン (⏻)
- 4 AUX（オーディオ入力）端子
- 5 SPDIF IN（光デジタルオーディオ入力）端子
- 6 DC5V（電源入力）端子

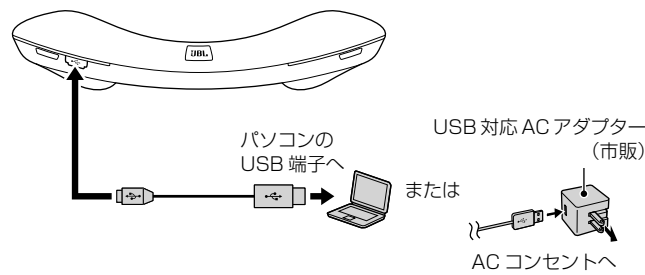
サウンドギアを充電する

付属の USB ケーブルを使って充電します。SOUNDGEAR BTA には USB ケーブルは 2 本付属していますが、どちらを使ってもかまいません。

充電時間は、約 2 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① サウンドギアの USB コネクタのカバーを開けて USB ケーブルを接続する。
- ② USB ケーブルを、お手持ちのパソコンの USB 端子に接続する。または、市販の USB 対応アダプターを使用して、コンセントに接続します。



充電中はバッテリー / Bluetooth インジケータが赤く点灯します。

AC アダプターは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。
 ・サウンドギアとパソコンを USB ケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲をサウンドギアで聞くことはできません。
 ・充電中はサウンドギアを使用することはできません。

充電が完了すると

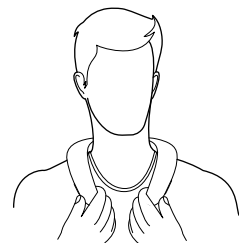
バッテリー / Bluetooth インジケータが消灯します。USB ケーブルを取り外してください。

電池残量について

電池残量が少なくなると、バッテリー / Bluetooth インジケータが赤く点滅します。インジケータが赤く点滅したら充電してください。

サウンドギアを装着する

サウンドギアを首にかけます。



ご注意

左右のアームを外側を開いて装着しやすくすることができますが、無理に強い力で開くとサウンドギアの破損の原因になります。

BTAをテレビなどの音源機器に接続する BTA

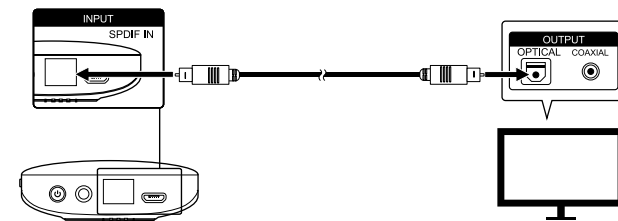
サウンドギアでテレビなどの音源機器の音声を聞くときは、付属の BTA (Bluetooth ワイヤレスオーディオトランスミッター) を使用します。

BTA は、テレビなどの音源機器 (以下、「テレビ」と表記) の音声を Bluetooth でサウンドギアに送信します。

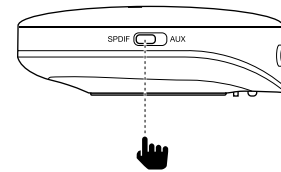
▶ 光デジタルケーブルで接続する

テレビが光デジタル音声出力端子を持っている場合、付属の光デジタルケーブルを使用して BTA と接続します。

- ① 光デジタルケーブルの保護キャップを外す。
保護キャップは大切に保管しておいてください。
- ② 光デジタルケーブルを、テレビの光デジタル音声出力端子に接続する。
- ③ 光デジタルケーブルを、BTA の SPDIF IN (光デジタルオーディオ入力) 端子に接続する。



- ④ BTA の SPDIF / AUX (入力切り替え) スイッチを SPDIF 側に切り替える。

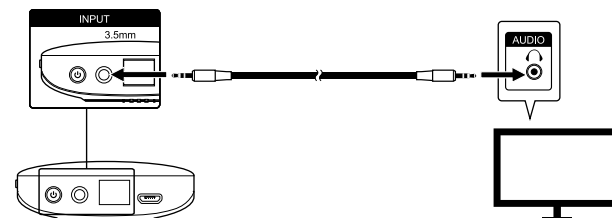


- ⑤ テレビの光デジタル音声出力を「PCM」に設定する。
設定のしかたについては、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。また、お使いのテレビの仕様で設定やメニューが異なる場合がありますのでご確認ください。

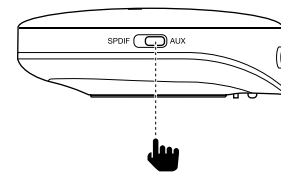
▶ オーディオケーブルで接続する

テレビに光デジタル音声出力端子がない場合、テレビの音声出力端子 (3.5mm ステレオミニジャック) と BTA の AUX (オーディオ入力) 端子を、付属のオーディオケーブルで接続します。

- ① オーディオケーブルを、テレビの音声出力端子に接続する。
- ② オーディオケーブルを、BTA の AUX (オーディオ入力) 端子に接続する。



- ③ BTA の SPDIF / AUX (入力切り替え) スイッチを AUX 側に切り替える。



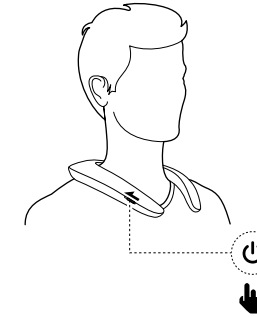
- ④ テレビの光デジタル音声出力を「PCM」に設定する。
設定のしかたについては、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。また、お使いのテレビの仕様で設定やメニューが異なる場合がありますのでご確認ください。

サウンドギアと BTA を Bluetooth で接続する BTA

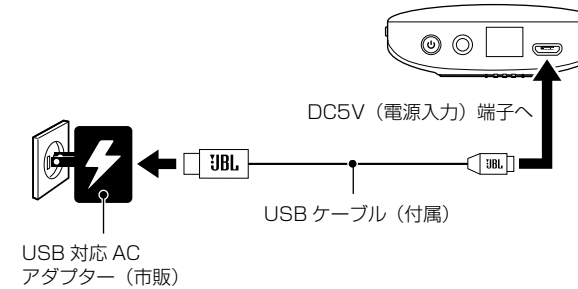
BTA を接続したテレビなどの音声をサウンドギアで聞くには、はじめにサウンドギアと BTA を認識させる「ペアリング」を行います。

▶ ペアリングを行う

- ① サウンドギアを装着し、電源を入れる。
電源スイッチ () を後方にスライドします。



- ② 電子音が鳴って電源がオンになり、電源 / Bluetooth インジケータが青色で点滅してペアリング設定状態になります。
付属の USB ケーブルと市販の USB 対応 AC アダプターを使って、BTA をコンセントに接続する。



- ③ BTA の電源がオンになり、電源 / Bluetooth インジケータが青色で点滅してペアリング設定状態になります。
自動的にペアリングが完了するのを待つ。
ペアリングが完了すると、サウンドギアと BTA の電源 / Bluetooth インジケータが青色で点灯します。
ペアリング中は、サウンドギアと BTA の間隔は、1m 以内を保ってください。

ご注意

- Bluetooth は約 10m の距離まで接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効距離は変動します。
- 以下の使用環境では、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このとき、再生が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
— 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

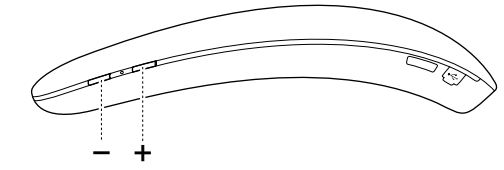
サウンドギアは、一度ペアリングを行った BTA の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、サウンドギアの電源を入れ、BTA を電源に接続するだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ 基本操作

サウンドギアと BTA が Bluetooth で接続されているとき、以下のコントロールを行うことができます。

音量の調整

音量ボタン (+ / -) を押して音量を調整します。



テレビなどの音源機器の音量は変化しません。また、テレビなどの音源機器の音量に関係なくサウンドギアの音量だけが変化します。

▶ Bluetooth 接続を一時的に解除する

BTA の電源 / ペアリングボタン () を約 6 秒以上長押しします。Bluetooth 接続が解除され、BTA の電源 / Bluetooth インジケータが青色で点滅し、サウンドギアの電源 / Bluetooth インジケータが白色で点灯します。

再度 Bluetooth 接続するには、サウンドギアの Bluetooth ボタン () を約 3 秒以上長押しします。ペアリングが完了すると電子音が鳴り、サウンドギアと BTA の電源 / Bluetooth インジケータがそれぞれ青色で点灯します。

▶ サウンドギアの電源をオフにする

電源スイッチ () を後方にスライドします。電子音が鳴って電源がオフになり、電源 / Bluetooth インジケータが消灯します。

スリープモードについて

BTA に音声の入力がない状態が 30 分以上続くと、BTA は自動的にスリープモードに入ります。スリープモードになると、BTA とサウンドギアの Bluetooth ペアリングはいったん解除されます。(BTA とサウンドギアの電源 / Bluetooth インジケータが青色で点滅します。)
BTA の電源 / ペアリングボタン () を押し、BTA とサウンドギアは再び Bluetooth のペアリング状態になります。(BTA とサウンドギアの電源 / Bluetooth インジケータが青色で点灯します。)

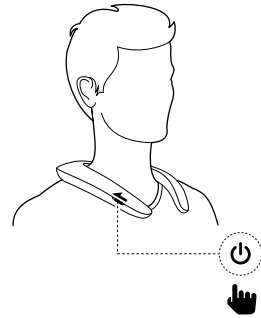
サウンドギアと音源デバイスを Bluetooth で接続する

スマートフォンなどの Bluetooth 対応デバイスとサウンドギアを Bluetooth で接続し、デバイスの再生音をサウンドギアで聞いたり、デバイスへの着信をハンズフリーで受けて通話したりすることができます。はじめに、サウンドギアとデバイスを認識させる「ペアリング」を行います。

▶ ペアリングを行う

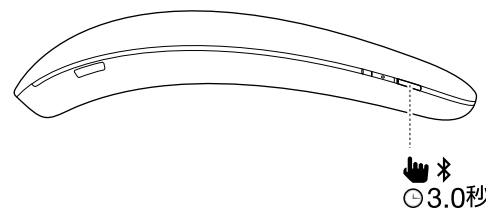
以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① サウンドギアを装着し、電源を入れる。
電源スイッチ (🔌) を後方にスライドします。



電子音が鳴って電源がオンになり、電源 / Bluetooth インジケータが白色で点灯します。

- ② Bluetooth ボタン (📶) を、電源 / Bluetooth インジケータが青色で点滅するまで、3 秒以上長押しする。



電子音が鳴ってペアリング設定状態になります。

- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源 / Bluetooth インジケータが青色で点灯します。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL Soundgear」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
 - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
 - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると電子音が鳴り、電源 / Bluetooth インジケータが青色で点灯します。

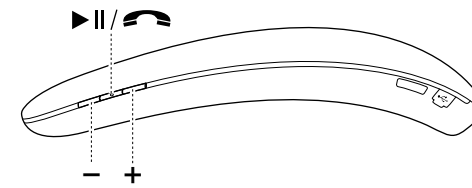
ご注意

- Bluetooth は約 10m の距離まで接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効距離は変動します。
- 以下の使用環境では、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このとき、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
 - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

サウンドギアは一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、サウンドギアの電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ 基本操作

Bluetooth 接続中は、サウンドギアのボタンで以下のコントロールを行うことができます。



音量ボタン (+ / -)：

押して音量を調節します。
音量+ボタンを 3 秒以上押し続けると、次の曲にスキップします。
音量-ボタンを 3 秒以上押し続けると、演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押し続けると前の曲にバックスキップします。

マルチファンクションボタン (▶/⏸)：

押すごとに再生 / 一時停止します。

マルチファンクションボタン (📶)：

携帯電話・スマートホンで Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。
着信中に 1 回押しすと電話を受けます。約 3 秒以上押し続けると着信拒否します。
通話中に 1 回押しすと電話を切ります。
通話中に別の着信があったときに 1 回押しすと現在通話している電話を切り、新しく着信した電話を受けます。

▶ Bluetooth 接続を解除する

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。

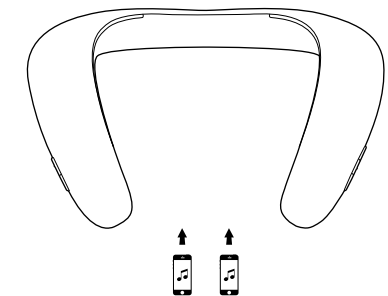
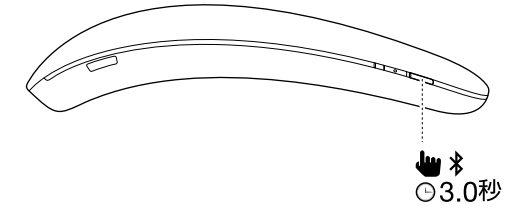
▶ サウンドギアの電源をオフにする

電源スイッチ (🔌) を後方にスライドします。
電子音が鳴って電源がオフになり、電源 / Bluetooth インジケータが消灯します。

▶ 2 台目のデバイスを接続する

サウンドギアに、同時に 2 台の Bluetooth 対応デバイスを接続することができます。

- ① 1 台目のデバイスをペアリングする。
前出の「ペアリングを行う」を参照してください。
- ② 2 台目のデバイスをペアリング設定状態にする。
サウンドギアの Bluetooth ボタン (📶) を約 3 秒以上押し続けます。デバイスの一覧から「JBL Soundgear」を選択し、接続します。



- ※ 最大 2 台まで同時接続し、電話を待ち受けることが可能です (マルチポイント対応)。
- ※ 画面は iPhone の場合の例です。
- ※ 2 台のデバイスの音楽を同時に聞くことはできません。また、2 台の電話の同時待ち受けはできますが、2 台同時に通話することはできません。
- ※ すべての Bluetooth 対応デバイスでの組み合わせ、動作を保証するものではありません。

トラブルシューティング

症状	解決法
サウンドギアの電源スイッチをスライドしても電源が入らない。	サウンドギアが充電されているかご確認ください。
Bluetooth 対応デバイスの音がサウンドギアから聞こえない。	音源のデバイスとサウンドギアが Bluetooth でペアリングされているかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
Bluetooth 対応デバイスとペアリングできない。	お手持ちのデバイスがサウンドギアの仕様に対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。サウンドギアは一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている機器をすべてオフにし、サウンドギアの電源を入れ直してください。
テレビの音声がサウンドギアから聞こえない。(SOUNDGEAR BTA のみ)	サウンドギアの電源が入っているか、BTA が電源に接続されているか、ご確認ください。 サウンドギアと BTA が Bluetooth 接続されていることをご確認ください。 BTA の SPDIF / AUX (入力切り替え) スイッチが正しい位置になっているかご確認ください。テレビと BTA を光デジタルケーブルで接続している場合は SPDIF 側に、オーディオケーブルで接続している場合は AUX 側に切り替えます。 テレビと BTA を光デジタルケーブルで接続している場合、テレビの光デジタル音声出力が「PCM」に設定されているかどうかご確認ください。

主な仕様

▶ サウンドギア

使用ユニット	31mm 径フルレンジドライバー x 4
周波数特性	100Hz ~ 20kHz
実用最大出力	3W x 2
音圧レベル	最大 111dB
マイクインピーダンス	32 Ω
Bluetooth	バージョン: SOUNDGEAR は Bluetooth4.2、SOUNDGEAR BTA は Bluetooth4.1
Bluetooth 伝送範囲	Class2、通信距離約 10m (障害がない場合)
対応プロファイル	HFP v1.6、HSP v1.2、A2DP v1.3、AVRCP v1.5
オーディオコーデック	SBC、aptX
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 2 時間
連続使用時間 (音楽再生時・通話時) *	約 6 時間
質量	約 350g

*・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生・通話時間は使用環境によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光にあたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ BTA (SOUNDGEAR BTA にのみ付属)

Bluetooth	バージョン: Bluetooth4.1
対応プロファイル	A2DP v1.3
受信距離 (定格)	15m
オーディオコーデック	aptX、SBC
消費電力	5V/0.04A
ステレオミニジャック	x1
サイズ	幅 50mm x 高さ 16mm x 奥行き 50mm
質量	35g

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーманオーナーズクラブ) は、ハーманインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーманインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel: 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間: 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーманインターナショナル株式会社

© 2018 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.